

議会だより

定例会

令和5年第4回定例会は12月12日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

諮問

○人権擁護委員の候補者の推薦について
瀬戸 照代氏（再）

原案可決

- 北竜町国民健康保険条例の一部改正について
- 北竜町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業の設置等に関する条例の一部改正について
- 北竜町簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
- 令和5年度北竜町一般会計補正予算（第6号）について
- 令和5年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

号）について
○令和5年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算（第4号）について

○令和5年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について

○令和5年度北竜町介護保険特別会計補正予算（第3号）について

○令和5年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算（第3号）について

○令和5年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業補正予算（第4号）について

○令和5年度北竜町簡易水道事業会計補正予算（第4号）について



議会構成

12月12日開会の令和5年第4回定例会において、新しい議会構成が決定されました。

佐々木議長の議員の辞職、議長の選挙を行い、中村尚一議員が議長に当選しました。

その後、副議長選挙、議席の指定、各一部事務組合の議員選挙、議長の常任委員、特別委員の辞任、総務産業常任委員会・議会運営委員会、各特別委員会の委員長及び副委員長の互選し可決、閉会いたしました。

○議会運営委員会

- 委員長 木村 和雄
- 副委員長 寺垣 信晃
- 委員 尾崎 圭子

○災害対策特別委員会

- 委員長 木村 和雄
- 副委員長 寺垣 信晃
- 委員 佐藤 稔
尾崎 圭子

○まちづくり等調査特別委員会

- 委員長 尾崎 圭子
- 副委員長 寺垣 信晃
- 委員 佐藤 稔
木村 和雄

○北竜町農業の未来を考える特別委員会

- 委員長 木村 和雄
- 副委員長 尾崎 圭子
- 委員 寺垣 信晃
佐藤 稔

○一部事務組合議会議員

- 北空知広域水道企業団 議会議員 尾崎 圭子
- 中・北空知廃棄物処理 広域連合議会議員

中村 尚一

■常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の構成

- 総務産業常任委員会
委員長 寺垣 信晃
副委員長 木村 和雄
委員 佐藤 稔
尾崎 圭子

- 【議長】 中村 尚一
- 【副議長】 尾崎 圭子

一般質問

12月12日に開会された第1回定例会では、4名の議員から6件の一般質問がありました。



木村議員

旧岩村 コミュニティセンター 歴史遺産の保存について

木村議員

旧岩村コミュニティセンター（現町有地）の開拓記念碑、百年記念碑、地神宮等の保存について、どう考えているのかお聞きしたい。

地元の皆さんと協力して、例えば、歴史遺産保存会を立ち上げて保存していく必要があるのではないか。

佐野町長

令和2年1月1日を期に、碧水地域4町内会が合併した。1町内会、1つの施設を原則としている。

開拓記念碑、百年記念碑は北竜町として保存したいと考えているが、地神宮については宗教上の問題があるので、慎重に取り扱う必要がある。

木村議員

旧岩村コミュニティセンターはこれから3年程はそば道場として活用し、その後は使いたい人がいるとお聞きしたので、冬期間の除雪や後々管理しやすいように記念碑の方に地神宮を移設出来ればと思う。

移設する場合、いくらか助成していただければありがたい。

佐野町長

地神宮の移設については、地先、地元の皆さんとも充分検討、慎重に協議していきたい。



木村議員

観光振興と北竜町の 地形を活用出来る 対策について

木村議員

観光振興と北竜町の立地条件、地形を活用出来るよう施設の整備をお願いしたい。

眺望の丘の登り口の道路整備と外灯並びに簡易な椅子の設置をしてはどうか。眺望の丘から見える風景は観光客から好評を得ており、北竜町ポータルや写真愛好家の方から

広く内外に発信していただければと思う。

佐野町長

眺望の丘は農地の一部であり、ひまわり観光対策の位置づけはされておらず、道路整備の予定もないが、観光客の動向等を見極めながら検討してまいりたい。

木村議員

今すぐにということはないが、眺望の丘に続く数十メートルの小高い山があるので、そこを自然の展望台として活用出来れば北竜町の価値を高めることが出来るのではないかと思います。

佐野町長

小高い山の上に高級ホテルの建設という提案も過去にはあったが、多額の設備、費用が必要な事から途中で立ち消えとなった。北竜町の自然豊かな貴重な財産として、今後どう活用するのが良いか充分検討していく。

客の流動に懸念があるのではないか。

全員協議会においては、「世界のひまわり」の過去の経過を踏まえての検討が必要ではないか。

「世界のひまわり」の場所を現存させながら、その緑周りを使得の散策路等の整備をする方向性もあるのではないかと思います。理事者の考えをお伺いしたい。



佐藤議員

ひまわりの里基本計画の 見直しの検討案 (11月27日説明)について

佐藤議員

11月27日の全員協議会において「ひまわりの里活性化協議会」での検討図案の説明について、太鼓や吹奏楽を演奏

する広場の後方に新たに展望台や総合観光施設を設け、「世界のひまわり」の場所を町営野球場の横に移動する図案になっていたが、その場合観光



佐野町長

全員協議会では、ひまわりの里基本計画を基に活性化委員会での協議内容や配置案等を説明させていただき、その中で、ひとつの例としてレイアウトの図を一枚だけ添付をした。それ以外にも多数のレイアウト案があり、既に決定したのではなく、ひまわり活性化委員会等で意見を頂戴しながら検討を進めている。

今後においては来年10月を目途に財源確保を含めたハード・ソフトを合わせて基本計画を見直し、公共施設等配置計画や北竜町総合計画等の調整が必要であると思っている。

佐藤議員

道路や施設の配置、圃場の土質、場所の移転により発生する人流の変化も鑑み、様々のご意見を頂戴する中で鋭意協議して計画の見直しを進めて参りたい。

佐藤議員

ひまわりの里の検討案が多数示されているが、実施段階において、例えば一期二期三期等の整備計画を整理しながら示していただきたい。

佐野町長

令和6年の10月を目処におよその見直し計画案をまとめ、その中で年次計画等を示したいと思っている。



佐藤議員

永楽園介護職員 確保について

佐藤議員

永楽園では、介護職員の不足により入所者の定員数を満たしていない。職員確保のた

佐野町長

専門学校において資格を取得し、卒業後に永楽園に就職する制度の創設をはいかがでしょうか。

佐藤議員

永楽園も慢性的な介護職員不足である。平成28年より介護福祉就学資金貸付制度を制定しているが、活用する方がいない。

東川町においては町内に居住し町内の学校で学び東川町に就職しなければならぬ。本町において同様の仕組みを制定するのは難しい。栗山町においても授業料軽減措置があるが、入学生がいない。何れにしても多角的に検討していきたい。

東海林園長

東川町は本年から始まった制度である。地域おこし協力隊の場合は居住と就職が必要であるとのことである。外国人留学生支援やふるさと納税の活用もある。

栗山町の自治体包括連携は学校と自治体が締結を結んで、学生の確保、介護職員の確保など助け合うことであるが、入学する人材がいない。いかに対象者を発掘するかが

寺垣議員

10月17日総務産業常任委員会の行政視察にて特別養護老人ホーム永楽園の施設を視察させていただいた。



特別養護老人ホーム 永楽園の今後の見通し について

全体的に経年劣化による老朽化が進んでおり、入居者の生活に直接関わる場所も多く見受けられ、早急な修繕の必要性を強く感じた。永楽園の運営について大変であると常々お聞きしているが、今後の見通しと将来的な展望について理事者に伺いたい。

佐野町長

永楽園は入居者の方々の日

佐藤議員

により、介護職員専門職の割合によって介護報酬が変わってくる心配がある。

今後も介護職員の確保について努力をいただきたい。

寺垣議員

常生活の場であるため、軽微な補修は極力経費をかけず職員が対応し、業者発注が必要な場合の修繕箇所については予算計上にて対応している。

昭和61年に着工、完成して37年の年月が経過し、また、増築した短期入所等及び新館についても平成13年完成から25年が経過しており、施設の経年劣化は否めない状況にあり、修繕必要箇所の洗い出し、優先順位付けを行いながら対応している。

介護職員不足も合わせて専門家も入り、職員によるプ

ロジエクトを作り職員から「永楽園はここがこうです。」「ここが改修必要です」等、提案をしていただいている。

また特老会計は、介護職員不足から入所人員の抑制による収支悪化により、近年、一般会計からの繰入金が増大している。

昨年度から経営改善支援業務を有限監査法人トーマツに委託し、短期的及び中長期的な業務改善及び今後の施設の展望についても様々な視点から調査検討を行っている。

当施設は現在本町の介護保健事業の中枢を担っており、永楽園の将来の在り方は、本町の高齢者施策にも大きな影響を及ぼすものと思う。本町の貴重な雇用の場でもあるため慎重に決断し修繕補修箇所を改善していかねばならないと認識しているのでご理解願いたい。

寺垣議員

施設が40年近く経つとのことで、例えば南側に面している部屋の木の柵の塗装が剥がれ落ちていたり、ちよつとした物入れの取手が取れている等、随所に経年劣化による棄

損や破損が見受けられ、早急な補修が出来ないものかと議員の一人として痛感した。

9月の定例会時に質問したが、人口減少、人口動態も考えながら、現在定員80名で70名の入居者と聞いているが、定員80名が本場に適正なのかを考えながら、これからの運営と将来的な展望に期していただきたい。



尾崎議員

佐野町長3期目の締め括りとして

9月定例会で町長ご本人からの退任の意向を発表され、12年前の町長選を感慨深く思い出される。

当時農協女性部北竜支部長の関係で、佐野町長候補の激励会でお訊ねした。

○町民の声にしっかりと耳を傾けていただけますか。

○良いものは良い、駄目なものは駄目とはつきり伝えてい

佐野町長

公共施設の再配置計画の中には直接永楽園は入っていない。今後どうすべきかしつかりと年次を決めて考えていきたい。

人口減少とともに、高齢者の数も減少傾向であり入所者が中々ないが積極的に健全な運営ができるよう努力してまいりたい。

ただけますか。

○親戚や親しい人を特別扱いせず、しがらみを取り除いていただけですか。

いづれもはつきりと「はい」とお答えいただいた。

一町民の私が是非望んだ3つのわかりやすいお願いで、町長になる方には自分の情に流されず問題のほころびを修復し、町民が安心して住める町を育てていただきたいと願

つたからです。

町長としての責務の大きさを察するに余りありますが、お約束されたことに対するご自分の評価を締め括りとしてお聞かせください。

佐野町長

「町民主役の町づくり」をスローガンに12年のまちづくりに取り組んで参りました。

「お約束に対する評価」は公約を指しているかと思いますが、個々の政策、実績についてはおしなべて及第点かと思っている。

時には議員の皆様方から叱咤激励をいただいた。また新型コロナウイルス感染症の影響により私たちの生活は一変したが、厳しい時代を乗り越えていくには自ら立ち向かうしかない。

人口減少、少子高齢化、子育て支援、公共交通確保、公共施設の老朽化、農業振興、商工業、観光の振興等、どの問題も待ったなしである。残された2ヶ月で少しでも課題解決に向け頑張りたい。

最後に12年間本当にお世話になり、ありがとうございます。

活動報告

【1月】

- 6日：20歳を祝う会
- 9日：北竜消防出初式
- 10日：社会福祉協議会新年の集い
- 11日：北竜町商工会新年交礼会並びに優良勤続者表彰式
- 19日：議会運営委員会、北竜町議会第1回臨時会、全員協議会
- 22日：議会等OB会新年会
- 24日：例月出納検査
- 26日：総務産業常任委員会

活動予定

【2月】

- 1～2日：空知町村議会議長会第1回定期総会
- 8～14日：定期監査（監査委員）
- 20日：北海道監査委員協議会定期総会（監査委員）
- 未定：例月出納検査、総務産業常任委員会



議員 コラム

毎年の暮れに報道番組では、亡くなられた方々の追悼番組が行われる。私事では8月に長姉、10月に母が召された。

そして当議会でも、健康状態が不安視されていた松永議員が、令和5年2月末9期目の当選から、生涯現役の志半ばでお亡くなりになった。ご本人、ご家族の皆さまには衷心より哀悼お悔み申し上げます。

まだ雪深い3月定例会から「欠員議会」を的にテレビ局から番組取材依頼をされてきた。発言を切り取られ構成されていたが、実際議会はどこに向かっているのか。なり手不足のマイナスイメージから逆転への展開を望みたい。

令和5年度の締め括りと、令和6年度からの新たな首長による新体制がスタート。何故なり手がいないのか、何処に原因があるのか。心の障壁を崩して、町に住む皆が一緒に考えることと思う。

北竜町の明日の未来に明るい光が射し込みますように。

(尾崎 圭子)

